

長谷川誠子

7月例会 議事録

日時: 令和4年7月7日(木) 15:00~17:00

場所: 川本本店 茶論[縁](さろん「えん」)

出席者 13名 川本 阪田 阪田 笹嶋 杉田 鈴木 清野 南野 長谷川 中村 藤原 牧 吉田

1 毎年、7月の例会は総会を兼ねています。

事業報告・決算報告・監査報告・役員改選・事業計画・収支予算案とも出席者の全員一致で承認されました。決算報告書を7ページに掲載しています。

2 6月17日(金)、茨木市の新施設「omo café+c」(オモカフェ プラスシー)の見学会がありました。2~3ページに当日の記事を掲載しています。

3 7月4日(月)に奥嵯峨散策を実施しました。参加者合計20名。内訳 街 ing10名 その他10名。4~5ページに当日の記事を掲載しています。

4 11月25日(金)に宇治平等院周辺を散策 昼食は普茶料理(精進料理)5,500円程度。紅葉狩りとして実施します。企画担当を牧・南野さんをお願いしています。

5 10月4日(火)に尼崎周辺の散策を計画しています。企画担当を牧・長谷川さん。

6 忘年会を12月9日(金)に予定。淀屋橋の「かき広」プラス御堂筋彫刻鑑賞。企画担当吉田さん。

7 8月の例会はなし。次回の例会は9月1日(木)です。開始時間を1時間早め 14時からとなります。

8 彩都にある資生堂の工場見学会を今後企画します。人数制限があり、当面はむずかしいとのことです。

9 新しく、吉田洋子(よしだひろこ)さんが入会されました。吉田恭三さんの奥様です。よろしくお願いします。



以上

## 古民家カフェのあり方とは

# くつろぎの空間を求めて

「omo café+c」(オモカフェ プラスシー)は茨木市にオープンした複合施設です。カフェレストランとアートショップが入居しています。その内部見学会がありましたので、参加してきました。

実施日 2022年6月17日(金)

街ingの参加者6名 川本 阪田 鈴木 長谷川 中村 松岡

新施設の運営は「FIC ベース」。同社は茨木市中心市街地を活性化することを目的に2019年に設立されました。茨木商工会議所 茨木市 学校法人追手門学院 民間企業が出資しています。

F future 未来

I Ibaraki 茨木

C creation 創造

B Base 基地

「茨木市の未来を創造する基地」になることを目指しています。

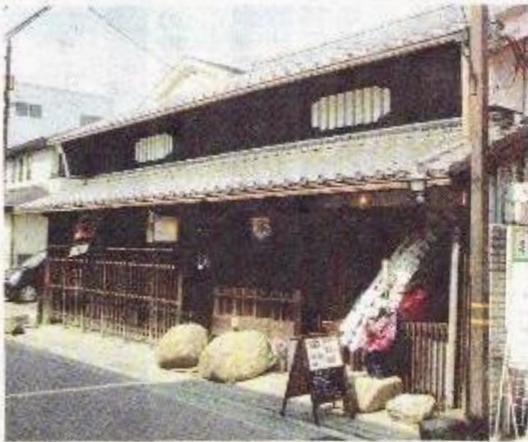


古民家にあった蔵です。内部は改装されて、レストランスペースになっています。蔵の中で食事。密室感があって楽しそう。コロナ明けに、再度行ってみたいです。

# 古民家カフェに進化形

## 茨木 雑貨店が日替わり出店

茨木市本町に、明治時代に建築の古民家を改修した複合施設「omo cafe +c（オモカフェ プラスシー）」がオープンした。カフェレストランだけでなく、アクセサリーなどの雑貨を手作りするアートショップが日替わりで出店。クリエイターらの感性で新たなにぎわいを演出する。



オープンした「omo cafe +c」



改修された古民家内部。アートな空間が広がる —茨木市

同施設を手がけたのは、市や地元企業が出資するまちづくり会社「FICベイス」。古民家は築約140年を誇り、建物部分の広さは約100平方メートル、庭などを含めると約265平方

メートルもある。約2年前に高齢の住民から借り受け、大規模なリノベーションを行った。

京都市内で「和スイーツと創作ごはんの店」として展開している人気店が府内で初出店。

クリエイターとコミュニティの頭文字「C」をプラスすることで、「カフェに訪れる人とクリエイターのコミュニティが生まれる場」を目指しているという。

FICベイスのエリアプロデューサー、吉川美央さんは「市内の人口は増えているが、地域の商業施設は厳しい経営が続いている。ここでの開業をきっかけに、別の施設も含めて中心市街地を楽しく回遊できるようにしたい」と話している。

火曜定休。29日にはオープン記念イベントとして、人気クリエイターらの作品を販売する予定。

オモカフェ プラスCの紹介記事。2022年5月26日付産経新聞

オープン日 5月13日 営業時間 11時～21時

メニューの一例 釜めしセット 1,800円 かき氷 1,000円 など

開店間もないため、混雑しています。秋ごろに訪問し、茨木市活性化の一端を担(にな)われてはいかがでしょうか。

## 嵐山・嵯峨野の魅力を再発見

# 京の歴史も 至福のアユ料理も

実施日 2022年7月4日(月)

参加者 街ing10名 川本 阪田 佐藤 杉田 清野 中村 南野 牧 松岡 吉田 その他10名 計20名

京都の代表的な観光地である嵐山。現在一般的に呼ばれる「嵐山」は渡月橋を中心とした観光エリアの総称を指しています。厳密な地名で言えば渡月橋の南岸が嵐山地区、北岸は嵯峨地区となります。また、渡月橋の後方の山は正式に「嵐山」という山で、山自体もちゃんと存在しています。

今回の散策は嵯峨野のさらに北側、奥嵯峨と呼ばれる地区。かやぶき屋根の民家や風情のある「重要伝統的建造物群保存地区」を訪ね、嵐山の魅力に浸りました。案内をしてくださいました牧さんにお礼申し上げます。



昼食会場の平野屋  
昔ながらの家屋で、アユ料理をいただきました。

平野屋前  
当日は雨だったので、記念写真のときには雨がやみました。江戸時代から続く伝統のアユ料理は最高でした。





#### 重要伝統的建造物群保存地区

愛宕街道沿い約 600 メートルの間に、門前町として発展しました。町家風民家とかやぶき農家が軒を並べていました。梅雨が明けてカンカン照りの予想でしたが、ほどよく雨が降り、ほどよく晴れていました。

#### 化野念仏寺(あだしのねんぶつでら)。

この地は古来より埋葬の地でした。あだし野は化野と書きます。「あだし」とは、はかない、むなしいの意味です。人々が石仏を献上し、永遠の別離を悲しんだ場所です。テレビの旅番組で幾度となく登場しています。



#### 竹林の道(ちくりんのみち)

大河内山荘から野宮神社の間を約 200 メートルにわたって続く小道です。代表的な観光スポットですが、当日は街 ing の貸し切り状態。緑の散歩道をゆっくりと堪能できました。



## 太陽暦への改暦 150 周年

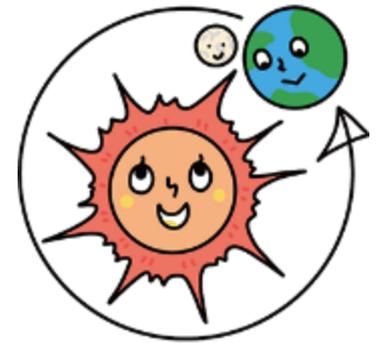
杉田 宗三

今年は、日本における太陽暦への改暦 150 周年に当たります。それまで使用していた太陰太陽暦の 1872 年 12 月 3 日を新暦の 1873 年 1 月 1 日として改暦しました。

それ以前に、戦国時代の末頃よりキリシタンの人々に使われていたし、江戸時代の本多利明は太陽暦の便利さを説いたりなどがあります。(ネット情報より)

### <日本における暦>

日本では確かな暦がなく、自然現象に従っていた自然暦だったと言われており、明らかに暦が採用されたのは、中国渡来の太陰太陽暦を用いた 690 年(飛鳥時代)からです。その後 1685 年(江戸時代中期)に初めて日本人の手でズレを修正して作られた和暦、貞享暦になります。それから数度の変遷を経て、1872 年(明治 5 年)に改暦となり、翌年から西洋に合わせて、まずユリウス暦、その後 1898 年(明治 31 年)にグレゴリオ暦を採用しています。



これは、諸制度を欧米に倣ったために、暦日も合わせないと、辻褄が合わないためでした。

### <日本の改暦の裏話>

1873 年(明治 6 年)は旧暦では閏年に当たり、西洋流を採用すると、月給を 1 か月多く 13 か月分支払う必要があり、財政逼迫に苦しんでいた新明治政府が、正月を 1 か月早くするという非常手段を、何の前触れもなく採用したとそうです。

福沢諭吉が、動揺する一般市民の人心を抑えるために、太陽暦がいかに太陰太陽暦より優れているかなどを書き記した啓蒙書「改暦弁」は有名との記述もあります。

### <紀元前 3000 年頃に暦は誕生>

暦は、原始的な狩猟文明から農耕文明に移る過程で、季節による気候の変動に対して、食物を計画的に生産し収穫・貯蔵するという知恵、人類が生活する上での必要性の中から生まれてきました。

エジプトでは紀元前 3000 年頃、毎年初夏の雨季の頃にナイル川が氾濫して大洪水をもたらす事を、その前に決まって東の空に明るいシリウスが輝き始めることから察して、1 年の周期をシリウスが見え出す夏至の日を始まりとして、そこからまた見え出す前日までを 1 年 365 日とする、太陽暦の起源となる「シリウス暦(エジプト暦)」を作ったとされています。この暦をもとに、1 年を大きく 4 か月ごとに分けて、洪水・種まき・収穫時期と分けて農作業を管理していたのです。

※ ユリウス暦は、古代ローマ時代にユリウス・カエサルがシリウス暦のズレを修正したものです。

# 街ingいばらき 第20期決算報告書

(令和3年6月1日～令和4年5月31日)

## ＜収入の部＞

項 目	予 算	決算額	差額残	備 考
前年度繰越金	184,731	184,731	0	ゆうちょ銀行：180,993円 りそな銀行：3,738円
入会金収入	1,000	0	1000	
会 費	49,000	45,000	4000	年会費：2000円×22名＋1000円家族1名
利 息	1	2	▲ 1	
雑 収 入	1,200	3,200	▲ 2000	阪田様 コーヒー代(7/1)：1200円 お花見残金：2000円
収入合計	235,932	232,933	2999	

## ＜支出の部＞

項 目	予 算	決算額	差額残	備 考
用紙・封筒	1,000	1,199	▲ 199	
印 刷	3,600	4,450	▲ 850	
通 信	1,200	1,100	100	
ホームページ	3,500	3,523	▲ 23	
会場使用料	0	0	0	
イベント補助金	33,000	22,220	10780	松尾大社補助 922円×10名＝9220円 双ヶ岡補助 1000円×13名＝13000円
資料作成費	10,000	10,000	0	
雑費（備品費など）	6,000	6,170	▲ 170	菓子代
硬貨出金手数料	0	110	▲ 110	
予備費	177,632	184,161	▲ 6529	ゆうちょ銀行：177,946円 りそな銀行：6,215円 合 計：184,161円
支出合計	235,932	232,933	2999	

(収入) - (支出) = (残 金)  
232,933円 - 48,772円 = 184,161円

**第21期への繰越金は 184,161円です。**

以上の通り20期収支決算を報告いたします。

令和4年 6月15日 会計委員 清野征昭 ㊞

監査した結果、適正であることを認めます。

令和4年 6月15日 会計監事 川本律子 ㊞

## 次回のイベント

尼崎散策 10月4日(火) 集合場所・時間は未定。 7月 8月 9月のイベントはありません。

## 次回『街ing いばらき』例会のご案内

日 時: 9月1日(木) 14:00~16:00 8月の例会はありません。開始をPM2時に変更しています

場 所: 川本本店 茶論「縁」(サロン「えん」)

住所: 茨木市上泉町6-29 TEL: 072-624-5552

- 内 容: 1. 10月4日(火)の尼崎散策  
2. 11月25日(金)の紅葉狩り  
3. 12月9日(金)の忘年会 他

## 『街ing いばらき』とは?

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年3回程度の街歩きを行なっています。参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間 2,000円(一か月 170円)



## 《 編集後記 》

- 街ingが発足して20年が経過。第20期の総会が終了しました。21年目の活動が始まっています。暑さにもコロナにも気をつけてこの夏を乗り切りたいものです。
- 10月4日(火)に尼崎散策を予定しています。新しい尼崎を体験できそう。また「昼食をちょっと贅沢に」の路線を引き継ぎ、魅力のアップした街歩きを目指しています。楽しみですね。
- 街ingの行事は任意・自由参加です。事故・傷害などについては、自己責任で対応ください。街ingでは事故に対して、一切の責任を負いません。

## 《 編集・発行 》

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目 10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://www.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2022年7月現在での訪問者は9,640<前月比20の増加>となっています。

